

都市再生整備計画事業 事後評価シート
揖斐川町中心地区

平成31年3月

岐阜県揖斐川町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	揖斐川町		地区名	揖斐川町中心地区			面積	920ha		
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	2,360百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(センターアクセス道路整備(町道682号線、町道23号線)、地域生活基盤施設(ポケットパーク整備(R417、町道62号線)、清水地区広場整備、脛永観光駐車場)、高質空間形成施設(お神輿ロードカラー舗装、桂川散策道整備)、高次都市施設((仮)揖斐川文化・観光ホール整備)										
		提案事業	地域創造支援事業(にぎわいと活力あるまちづくり)、事業活用調査(事業効果分析)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 センターアクセス道整備(町道682号線)、ポケットパーク整備(町道62号線) 清水地区広場整備、脛永観光駐車場、お神輿ロードカラー舗装				削除/追加の理由 公園事業に集約		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし				
		提案事業	-				-		-				
	新たに追加した事業	基幹事業	公園((仮称)ふれあい児童公園整備)				公園事業として新たに整備		影響なし				
提案事業		-				-		-					
交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	-		-		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	(仮)揖斐川文化・観光ホールの満足度	%	16	H25	36	H29	-	63	○	あり	(仮)揖斐川文化・観光ホール整備やまちなかの道路整備等により、町中心部の快適な利用環境が形成され、来訪者や周辺住民の満足度向上につながった。	-
	指標2	生涯学習活動団体の登録者数	人/年	2,726	H25	3,200	H29	-	3,359	○	あり	(仮)揖斐川文化・観光ホール整備や、にぎわいと活力あるまちづくり等により、地域の伝統文化が学習できる環境や、伝えることができる環境が形成され、生涯学習活動団体の登録者数増加につながった。	-
指標3	観光客の入り込み数	人/年	115,000	H25	127,650	H29	-	128,346	○	あり	地区内の道路の整備により、アクセス性が向上し、また地区内のイベント等他事行と相まって、来訪者の誘客が図られ増加につながった。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
4)定性的な効果発現状況	・文化交流が活性化し、観光交流の1つである揖斐川町文化協会が主催する「アートいびがわ」はさらに好評を得ている。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					-		
	住民参加プロセス	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					-		
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくりに対する町民アンケートの実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 引き続き、アンケート等の手法により、市民の意見を聴取し、町民ニーズに対応した事業展開を図る。		

様式2-2 地区の概要

揖斐川町中心地区(岐阜県揖斐川町) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値		評価値			
大目標：東海環状自動車道の開通をまちづくりの好機ととられ、ICアクセス向上と中心市街地の良好なまちづくりを進めることで揖斐川町の魅力をさらに高め、移住定住の推進、観光交流人口の増加を図り、「元気で楽しく活動する住民文化を高める」ための拠点施設と周辺環境を整備し、安全・安心で活力ある地域づくりを目指す 目標1：地域の伝統文化を学び、伝える場の提供と、住民の意欲的な生涯学習活動の支援 目標2：地域住民の安全で安心な暮らしを支える 目標3：観光交流人口の増加	(仮)揖斐川文化・観光ホールの満足度	単位：%	16	H25	36	H29	63	H29
	生涯学習活動団体の登録者数	単位：人/年	2,726	H25	3,200	H29	3,359	H29
	観光客の入り込み数	単位：人/年	115,000	H25	127,650	H29	128,346	H29
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮)揖斐川文化・観光ホールの整備により、地域の伝統文化が学習できる環境や、伝えることができる環境が形成され、伝統の保存、継承を行う機会が増加した。 ・(都)大野揖斐川線((一)本庄揖斐川線)や町道23号線等の整備により、中心市街地へのアクセスが向上した。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統保存・継承の場の維持管理・創出 ・安全かつ安心な利用環境を維持しながら、引き続き利用者のニーズに合わせたセンターの活用を進める。 ・中心市街地に新たな伝統保存・継承の場を創出し、伝統の保存・継承の担い手増加につなげる。 ○アクセス道路の整備、維持管理 引き続き、中心市街地へのアクセス性向上のため、まちなかの道路の整備、維持管理を行う。 ○観光客の持続的な誘客 歴史・文化等の資源を活かし、引き続き効果的なPRを実施し、観光客の持続的な誘客を図る。 							